



けやき祭終了！

本校の大きな行事のひとつであるけやき祭。今年が執行部で決めた「心をついに力を合わせ 笑顔あふれる けやき祭」をテーマに10月10日（土）に行われました。今年度は、新型コロナウイルス

感染症対策のため、児童生徒のみでステージ発表や展示が行われました。右の写真は、



テーマの一文字ずつを各クラスで制作し、それをつなげ廊下に掲示したものです。準備期間から心一つになっていきました。様々な学習成果物が各教室前の廊下に展示され、けやき祭までのカウントダウンがはじまりました。今年度から岩手医大の学習室の訪問教育も行われており、職員室前の廊下にその児童生徒たちの作品が展示されました。



例年けやき祭当日に行っていた高等部の作業学習製品販売会は、前日に保護者に向けて行われ、高等部の生徒の明るい声が校舎に響いていました。

〈ステージ発表〉 学部や学年の状況に合わせた先生方の創意工夫にあふれた構成で行われました。



小学部1・2年生は、「それゆけ！ももたろう！！～力を合わせて鬼退治～」桃太郎やアンパンマンに扮した児童が力を合わせて鬼を退治します。治療のため幼稚園や保育園を経験したことがなかった1年生も初めてのステージを一生懸命頑張りました。

小学部3年生は、「こぶたとオオカミのパーティー大作戦！」。こぶたさんと仲良くしたいオオカミさんたち。きちんと気持ちを伝えれば、仲良く遊べることを学んで、最後はパーティーです。かわいいこぶたさんたちとオオカミさんたちに思わず笑みがこぼれます。



けやき祭とは？

本校では、文化祭のことを「けやき祭」といいます。手代森に校舎があった時（盛岡養護学校時代）のシンボルとして大きなけやきの木があったからです。今、けやきの木は、盛岡養護学校のシンボルとしての役割を終え、本校の玄関に年輪が見えるようにして飾られています。

小学部4・5年生は、「マジカルとなんショー」。イリュージョンを起こしたり、科学マジックを披露したり、明るく元気な声がステージに響き渡りました。

小学部6年生は「雨ニモマケズ～そういうものに私たちはなりたい～」。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を背景に様々なパフォーマンスが繰り広げられます。



6年生の国語の教科書にある作品「やまなし」を赤いカニさんたちが朗読。そして「雨ニモマケズ」をモチーフに、今自分たちが人のためにできることを挙げていきます。自分たちが頼るだけでなく何かしてあげたい、何ができるだろうか、真剣に考え、発表する6年生たちに、見ていた看護師さんたち

の目が潤んでいました。

毎年トリをつとめるのが中学部。「わたしたちのアイムポッシブル～みんなの聖火を灯そう～」パラリンピックについて総合的な学習の時間の授業で調べた「ひと」「もの」「こと」について発表していきます。1年生

は出場する国について調べ紹介しま

した。2年生は、様々な競技について実演していきます。3年生はあこがれの日本選手団に扮してパフォーマンスをしました。



フィナーレは、ベートーベンの交響曲第9番を編曲した「希望の歌」を中学部全員で手話を交えて合唱しました。「みんなが笑顔でいられるように」という歌詞を全員がいい表情で合唱しました。全員の可能性を感じさせるステージ発表でした。



コロナ禍の中、保護者の方々や地域の方々にお見せすることのできなかった今年のけやき祭ですが、児童生徒は今できる最高のパフォーマンスを繰り広げてくれました。来年度こそ、新型コロナ

ウイルスの心配がなくなり、保護者の方々や地域の方々に、本校の児童生徒の「明るく 強く」学習する姿を見ていただければと願ってやみません。毎年高等部の作業製品の販売も行っております。窯業班はお皿やカップを製作しています。工芸班は着物をリメイクしたエコバッグ(裂き織りで作った持ち手)。



環境整備班は廃油処理用の「油吸うんだゾウ」を用意しております。ぜひ来年は奮ってお越しください。